

栄養部

1. スタッフ構成(2025年3月時点)

- 大野 敬三(糖尿病・内分泌内科部長、栄養部長)
- 【管理栄養士】
- 三ツ井 照代(担当係長)、伊藤 由未子、宮下 真結子、相原 可奈、重見 佳那、滝山 美保、河野 旬恵、倉田 裕子、乃万 稔未、梶原 紗由莉、山下 厚美
- 協力企業:58名

2. 認定資格取得(2025年3月時点)

資格名	資格取得者
日本糖尿病学会糖尿病専門医	大野敬三
日本糖尿病療養指導士認定機構 日本糖尿病療養指導士	三ツ井照代、伊藤由未子、 滝山美保、河野旬恵、 倉田裕子、梶原紗由莉
愛媛地域糖尿病療養指導士認定 制度委員会愛媛地域糖尿病療養 指導士	三ツ井照代
日本栄養治療学会NST専門療法士	伊藤由未子
日本病態栄養学会病態栄養専門 管理栄養士	三ツ井照代、滝山美保、 乃万稔未
日本病態栄養学会がん病態栄養 専門管理栄養士	滝山美保

3. 運営方針

- (1) 専門性を活かした栄養管理に努めます。
- (2) 栄養バランスが計算され、安全で衛生的かつおいしい食事を提供し、入院患者の早期の健康回復に貢献します。
- (3) 外来や病棟における栄養食事指導により、疾病の予防や回復、健康の維持や増進に役立つ食生活をサポートします。

4. 実績

■ 入院時給食数

区分	件数
一般食	
成人食	103,458
学齢児食	2,378
軟菜	38,336
小児食	6,221
三分食	6,937
流動食	1,997
離乳食	894
ミルク	22,066
小計	182,287
特別食	
腎臓病食	24,310
心臓病食	38,809

その他の減塩食	1,772
肝臓病食	6,203
潰瘍食	2,069
糖尿病食	45,315
術後食	14,753
膝炎食	8,137
クローン潰瘍性大腸炎	834
検査食	222
特別流動食	20,362
きざみ食	15,475
減塩食(非加算)	13,883
その他	52,840
小計	244,984
合計	427,271
一般食割合	42.7%
特別食(加算対象食)割合	33.3%

(1) 個別指導および集団指導

外来および入院患者への病態別栄養食事指導を実施しています。栄養食事指導の依頼内容は糖尿病、腎臓病、消化器疾患など多岐にわたっています。

- ・ 外来・入院個別栄養指導:1回30分程度
初回260点、2回目以降200点
- ・ 集団栄養指導:1回40分 80点

■ 栄養食事指導実施人数

病名	人数
心臓・高血圧	477
肝臓病	153
腎臓病	598
胃腸・消化器疾患	538
糖尿病	1,322
肥満	22
母子栄養	80
その他	289
合計	3,479

(2) 糖尿病教育入院での栄養指導

糖尿病教育入院では8日間の入院期間中、個別栄養食事指導と集団栄養食事指導を実施しました。

(3) 造血幹細胞移植チームへの参加

血液疾患患者全体の生存率向上のため、移植カンファレンスに参加し、移植患者の喫食率向上、栄養管理を行うよう努めました。入院中だけでなく、退院後の栄養食事指導を行いました。

(4) 栄養サポートチーム活動

毎週火曜日に、医師、歯科医師、管理栄養士、薬剤師、看護師、言語聴覚士による栄養サポートチーム(NST)で回診を行いました。NST回診において、管理栄養士は対象患者の栄養必要量の算出や栄養摂取量の算定を含めた栄養評価を行い、栄養投与経路の選択、投与される栄養剤の選択や推奨投与量、食事選択のアドバイスをを行いました。

- ・ 栄養サポートチーム加算:週1回200点
- ・ 歯科医師連携加算:50点

■ 栄養サポートチーム活動状況

	介入件数	歯科連携
栄養サポートチーム加算実績	309	302

(5) 各種チーム活動

循環器内科と心臓血管外科に入院し、心臓リハビリを行っている患者さんに対してのカンファレンスに参加し、患者さんの状態に合わせた栄養管理に努めました。

(6) 喫食率向上への取り組み

一般食のうち並菜・軟菜を提供している患者さんに対して1日2食の選択メニューを実施し、嗜好に合わせた料理の提供を行いました。

安全で衛生的かつおいしい食事提供のため、メニューの改善などに取り組みました。

5. 2025年度目標

(1) 満足してもらえる食事の提供

- ・ 患者さんの声に応じるため、嗜好調査を定期的を実施し、結果を献立に反映させます。また、安心・安全な食材確保に努め、入院患者に満足してもらえる食事を提供します。
- ・ ニュークックチルとクックサーブにより個々の病状にあった食事を治療の一環として提供します。
- ・ 食材や料理の特性を活かした、新メニューの開発や既存メニューの改善等を行い、安全でおいしい食事提供を行います。

(2) 栄養管理への取り組み

在院日数短縮に向けて、栄養状態の改善や褥瘡の予防・改善のため、適切な栄養管理を実施します。また、病状に合わせた特別食の提供と栄養食事指導を実施します。

(3) チーム医療スタッフとして積極的に参加

院内でのチーム活動の中で、管理栄養士の果たす役割を的確に把握し、チーム医療に貢献します。

<カンファレンスへの参加>

患者さんの状態に応じたチーム医療に取り組むため、各チームカンファレンスに積極的に参加します。

<栄養指導の充実>

患者さんのさまざまな生活条件や嗜好なども踏まえた、実行可能性の高い食事の提案に取り組みます。

<医療機能に応じた栄養介入>

早期離床、在宅復帰を推進するため、特定集中治療室入室後、早期からの栄養管理、患者さんの症状や希望に応じた食事支援、入院中の栄養管理等に関する情報提供に取り組みます。